

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 4年 3月 2日

事業所名 Smile Kid'sかたしま

保護者等数(児童数) 24 回収数 23 割合 96%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いい え	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21			2	十分なスペースがあると思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21			2	職員の数には問題ないと思います。	契約時や見学時などにお伝えしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20			3	・建物の中を見ることがあまりないので、よく分からないです。 ・通所時の子どものルーティーンができており、先生もそれを理解してくれている	契約時や見学時などにお伝えしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20			3	・清潔で心地よい印象を受けました。植物も植えられています。 ・子どもがニックを起した時状況に合ったスペースで過ごさすなど、配慮されていると思います。	今後も、衛生面・環境設定など、十分に気を付けていこうと思っております。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	23				・丁寧な計画が作成されています。 ・作成前に聞き取りとアンケート調査があり、その内容をり入れてもらっています。	定期的に保護者のニーズを伺い、不明な点はいつでも問い合わせていただけるようにしていきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23				・療育で行っていることが、家庭での生活にもつながり、できることが増え、ありがたいです。 ・支援の内容などを具体的に書かれているので、どうアプローチすればよいか分かりやすいです。	保護者や職員間で共通理解を図りやすいよう具体的な支援内容を設定していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	1		1	・行われていると思います。 ・いろいろ工夫していただいていると思います。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	22	1			・工夫されていると思います。 ・運動のプログラムも取り入れていただいているのでありがたいです。	いろいろな活動に取り組みながら、個々に合った支援をしていきたいです。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20			3	同じ法人の保育園の行事に参加させてもらえる機会があり、良いと思います。	感染症の対策などを考慮しながら、考えていきます。
保護者への説	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23				・入所前に、丁寧に説明を受けました。 ・時間をかけて説明をして	利用開始前などにしっかりお伝えしていきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	22	1			・計画書を作成してもらって、確認をしています。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	15	1		7	・毎回コメントをいただく中で、参考になることがたくさんあります。 ・子どもの関わり方で困っている時に、具体的に指導をいただきます。実際に役に立ちました。	家庭でできる取り組みなどを分かりやすく伝えていきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23				・毎回分かりやすく説明してもらっています。子どもが何気なく「痛い」と言ったことまで報告していただいたことがあります。 ・個別の課題と全体的な課題を出して、明確に設定してもらっています。 ・仕事の関係で、迎えに行くことができず、送迎を頼んでいるため、直接会って相談することが難しい場合があります。	送迎時の話だけでなく、連絡帳など利用しながら、保護者と共通理解得られるようにしていきます。
14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	2		1	・迎え時の話や報告書のコメントなどで助言やアドバイスをいただいています。 ・話をしたり、困っていることをファイルに書いたりすることで、その都度対応してもらっています。		

明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	8	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をしているので、時間を割くことができません。そのような会が開催されると、とても困ります。</li> <li>・コロナの問題もあり、難しいと思います。</li> </ul>	保護者の皆様のご意見を取り入れながらも、皆様の負担にならないように考えていきたいです。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	2		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談したことは、それ以降も気にしてもらっています。</li> <li>・子どもへの上手な接し方などを相談すると、すぐに教えて下さり、助かっています。</li> </ul>		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達はできています。</li> </ul>	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	2			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回状況報告をしています。</li> <li>・ホームページの自己評価の結果を拜見しました。</li> </ul>	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23					<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意されていると思います。</li> </ul>	取扱いについて十分に注意をしていますが、今後も、より一層注意を払っていききたいと思います。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19	3		1			周知してもらえるように伝えていきたいです。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	2		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を実施しており、行動や災害についての指導をいただいています。</li> <li>・写真付きで、訓練の様子伝えてくれています。</li> <li>・本人もどういう行動をすれば良いか理解しています。</li> </ul>	訓練の様子は、今後も報告していきます。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回楽しみにしており、先生や友達の名前もよく話しています。その日の出来事も話してくれます。</li> <li>・とても楽しそうに通ってくださることも増えました。</li> </ul>	今後も、子どもたちが楽しんで通所出来るようにプログラムなど考えていきたいです。	
	23	事業所の支援に満足しているか	23				<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育を受けて、子どもも親も成長し、生活を楽しむことができるようになりました。</li> <li>・プログラム内容はもちろん、通園している保育園と連携しているのも助かります。</li> <li>・満足しています。</li> </ul>		

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。